

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社海帆 上場取引所 東
 コード番号 3133 URL <https://www.kaihan.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 元宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 水谷 準一 TEL 052-586-2666
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,205	33.2	△267	—	△264	—	△333	—
2023年3月期第2四半期	905	—	△281	—	△323	—	△396	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △333百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △396百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△7.92	—
2023年3月期第2四半期	△13.89	—

(注) 2023年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,611	1,025	28.2
2023年3月期	2,660	290	9.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,018百万円 2023年3月期 255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,168	151.8	△501	—	△540	—	△687	—	△18.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	48,378,900株	2023年3月期	37,888,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	42,113,185株	2023年3月期2Q	28,567,471株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和され、景気回復の兆しが見られたものの、ウクライナ情勢等による原材料価格の上昇等、今後の経済活動への新たな懸念事項が生じており、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する国内の外食業界におきましては、国内及びインバウンド需要に回復の兆しが見られておりますが、ウクライナ情勢等による原材料価格等の上昇は大きな影響が懸念され、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループでは、この環境下においても前期に引き続き好調な業態である「新時代」へ既存店舗のリブランドを進め、当四半期末現在で「新時代」は20店舗となりました。また、前期に子会社化した株式会社SSSは当社と同様に居酒屋事業を運営し、当四半期末現在では19店舗を運営しております。株式会社SSSはオペレーションや原材料等の共通点があり、従業員の独立を支援する店舗展開なども行っていることから、今後も多くのシナジーを発揮することが可能であると考えております。

また、今後、新型コロナウイルス感染症と同様の事象が発生した場合に備え、新たな収益基盤を確立するため、再生可能エネルギー事業へ進出し、太陽光発電設備の取得等を推し進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,205,641千円（前年同期比33.2%増）、営業損失267,168千円（前年同期は営業損失281,990千円）、経常損失264,034千円（前年同期は経常損失323,503千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失333,717千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失396,659千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(飲食事業)

当セグメントにおきましては、当社は新時代を含め既存店28店舗（内FC9店舗）の業務の効率化とコストの見直しによって、また、株式会社SSSは居酒屋店舗を中心として19店舗（内FC18店舗）の展開によって、売上高は1,205,605千円、セグメント利益は106,745千円となりました。

(再生可能エネルギー事業)

当セグメントにおきましては、2022年10月21日に新たにKAIHAN ENERGY JAPAN合同会社（2023年1月31日付でKR ENERGY JAPAN合同会社へ商号変更しております。）を、2023年3月31日にはKRエナジー1号合同会社を設立し再生可能エネルギー事業を開始いたしました。当第2四半期連結累計期間では新たな太陽光発電設備の開発の着手による固定資産の取得及び一部の設備で工事が完了し電力会社との系統連系が行われたことにより売電が開始されております。その結果、売上高は35千円、セグメント損失は89,300千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は3,611,946千円（前連結会計年度末比951,688千円増加）となりました。これは主として短期貸付金が267,000千円減少した一方で、現金及び預金が501,951千円増加したこと、また、建設仮勘定が517,222千円増加したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,586,901千円（前連結会計年度末比217,295千円増加）となりました。これは主として長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少63,245千円、リース債務の減少105,771千円があった一方で、短期借入金が500,000千円増加したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,025,044千円（前連結会計年度末比734,392千円増加）となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が333,717千円減少した一方で、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ548,483千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は28.2%（前連結会計年度末は9.6%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、761,656千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は492,795千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失300,576千円が計上されたこと、また、未払金の減少額124,152千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は404,944千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出658,662千円、短期貸付金の減少額267,000千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,399,092千円となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,068,110千円、短期借入金の増加額500,000千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

当第2四半期連結累計期間までの進捗は概ね計画通りであり、第3四半期以降に関しましては飲食店舗の新規出店や、再生可能エネルギー事業における売上高の増加を見込んでおります。

当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	315,114	817,066
売掛金	69,071	81,058
未成工事支出金	54,872	54,872
原材料及び貯蔵品	11,176	12,158
短期貸付金	560,000	293,000
その他	166,099	215,574
貸倒引当金	△1,001	△1,240
流動資産合計	1,175,333	1,472,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	289,619	318,562
リース資産(純額)	462	249
建設仮勘定	464,927	982,149
その他(純額)	41,520	141,001
有形固定資産合計	796,530	1,441,963
無形固定資産		
のれん	364,317	344,700
その他	14,090	10,566
無形固定資産合計	378,407	355,266
投資その他の資産		
敷金及び保証金	268,812	268,898
その他	68,536	113,026
貸倒引当金	△27,554	△39,891
投資その他の資産合計	309,794	342,032
固定資産合計	1,484,732	2,139,262
繰延資産		
創立費	191	191
繰延資産合計	191	191
資産合計	2,660,257	3,611,946

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,144	126,466
短期借入金	1,500	501,500
1年内返済予定の長期借入金	477,002	476,094
リース債務	98,545	86,029
未払法人税等	31,524	43,508
未払金	342,425	311,823
未成工事受入金	66,949	66,949
事業整理損失引当金	65,180	25,373
株主優待引当金	10,837	8,233
その他	63,950	59,658
流動負債合計	1,333,060	1,705,637
固定負債		
長期借入金	701,815	639,477
リース債務	308,739	215,483
その他	25,990	26,303
固定負債合計	1,036,544	881,263
負債合計	2,369,605	2,586,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,280	1,558,763
資本剰余金	380,203	928,687
利益剰余金	△1,135,356	△1,469,074
株主資本合計	255,127	1,018,377
新株予約権	35,525	6,667
純資産合計	290,652	1,025,044
負債純資産合計	2,660,257	3,611,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	905,303	1,205,641
売上原価	325,591	392,045
売上総利益	579,712	813,595
販売費及び一般管理費	861,702	1,080,763
営業損失(△)	△281,990	△267,168
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,040	21,444
受取保険金	1,440	—
その他	1,509	3,526
営業外収益合計	4,990	24,971
営業外費用		
支払利息	13,683	20,529
助成金返還損	30,960	—
その他	1,860	1,308
営業外費用合計	46,503	21,837
経常損失(△)	△323,503	△264,034
特別利益		
固定資産売却益	—	3,500
事業整理損失引当金戻入額	—	14,848
特別利益合計	—	18,348
特別損失		
減損損失	7,332	35,615
固定資産除却損	714	16,755
事業整理損失引当金繰入額	39,605	—
その他	600	2,520
特別損失合計	48,252	54,890
税金等調整前四半期純損失(△)	△371,755	△300,576
法人税、住民税及び事業税	31,286	40,359
法人税等調整額	△6,382	△7,217
法人税等合計	24,904	33,141
四半期純損失(△)	△396,659	△333,717
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△396,659	△333,717

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△396,659	△333,717
四半期包括利益	△396,659	△333,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△396,659	△333,717

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△371,755	△300,576
減価償却費	53,766	23,547
のれん償却額	9,282	19,616
減損損失	7,332	35,615
貸倒引当金の増減額(△は減少)	48	12,576
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,230	△2,604
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	28,628	△39,806
受取利息及び受取配当金	△2,040	△21,444
支払利息	13,683	20,529
固定資産売却益	-	△3,500
固定資産除却損	714	16,755
助成金返還損	30,960	-
売上債権の増減額(△は増加)	194	△11,987
棚卸資産の増減額(△は増加)	655	△982
仕入債務の増減額(△は減少)	5,634	△48,248
未払金の増減額(△は減少)	△126,492	△124,152
その他	31,992	△48,096
小計	△318,625	△472,758
利息及び配当金の受取額	2,040	32,895
利息の支払額	△14,089	△19,738
法人税等の支払額	△101,440	△34,534
法人税等の還付額	-	1,340
助成金の受取額	19,836	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△412,278	△492,795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,565	△658,662
有形固定資産の売却による収入	-	3,500
固定資産の除却による支出	△711	△12,914
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△64,845	-
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△300,000	267,000
敷金及び保証金の差入による支出	△30,633	△6,560
敷金及び保証金の回収による収入	12	3,291
保険積立金の解約による収入	42,832	-
その他	△500	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△388,412	△404,944
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△75,090	500,000
長期借入金の返済による支出	△56,967	△120,244
リース債務の返済による支出	△37,663	△48,772
新株予約権の行使による株式の発行による収入	150,000	1,068,110
その他	△246	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,967	1,399,092
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△820,657	501,351
現金及び現金同等物の期首残高	1,506,932	260,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	686,274	761,656

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、当第2四半期連結累計期間において営業損失267,168千円、経常損失264,034千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失333,717千円を計上しており、また、前期末においては2019年3月期より連続して営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。

これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、ウクライナ情勢による原材料価格等への影響が不透明な状況下ではありますが、以下のとおり対応を進めてまいります。

飲食事業においては、2022年7月15日開催の取締役会において、株式会社SSSの株式の100%取得を決議し、子会社化しました。株式会社SSSは当社と同様に居酒屋事業を運営し、オペレーションや原材料等の共通点があり、また、従業員の独立を支援する店舗展開による利益率の高い店舗運営を行っていることから、そのノウハウを十分に当社グループの飲食事業にて活用していきます。また食材原価と人件費の管理を徹底して行い利益率の向上を図ります。さらに金融機関との緊密な関係を維持し、継続的な支援をいただけるよう定期的に協議を行ってまいります。

再生可能エネルギー事業においては、2022年10月21日にはKAIHAN ENERGY JAPAN合同会社(2023年1月31日付でKR ENERGY JAPAN合同会社へ名称変更しております。)、2023年3月31日にはKRエナジー1号合同会社を新たに設立し、再生可能エネルギー事業にも進出し、飲食事業以外の安定的な収益基盤の確保に向け、太陽光発電施設の建設を行い、売電もしくは太陽光発電施設そのものの売買を始めております。さらに取得した太陽光発電設備の土地を有効活用する事を目的として、発電設備の下にて農作物の栽培を行うことも予定しており、そこで収穫した農作物を、当社グループが運営する飲食店へ供給する事により、事業においてシナジーが生じ、将来的な業績の改善に寄与するものと考えております。再生可能エネルギー事業に必要な資金に関しては、金融機関からの調達を予定しております。

今後も上記施策を推進し、収益力の向上と財務体質の強化に取り組みますが、これらの改善策及び対応策の一部は実施中であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2022年6月28日開催の定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2022年8月9日に効力が発生しております。この結果、当第2四半期会計期間において、資本金が1,355,769千円、資本準備金が1,342,457千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えました。また、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金の金額2,410,043千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補いたしました。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金が548,483千円、資本剰余金が548,483千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,558,763千円、資本剰余金が928,687千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務 諸表計上額 (注) 2
	飲食事業	再生可能エネルギー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,205,605	35	1,205,641	-	1,205,641
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,205,605	35	1,205,641	-	1,205,641
セグメント利益又は損失(△)	106,745	△89,300	17,444	△284,612	△267,168

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等43,712千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△328,324千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比べ、「再生可能エネルギー事業」セグメントの資産金額は925,794千円増加しております。これは主に、KRエナジー1号合同会社における建設仮勘定並びに現金及び預金の増加によるものであります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において35,615千円であります。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、当第2四半期連結累計期間において営業損失267,168千円、経常損失264,034千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失を333,717千円計上しており、また、前期末においては2019年3月期から連続して営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善するための対応策は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(継続企業の前提に関する注記)」に記載しております。